

■土地利用の地区別懇談会 17会場で開催

市では2月中旬から3月初旬にかけて、第5回土地利用に関する地区別懇談会を市内17会場で開催しました。

この懇談会は、土地利用に関する条例の素案や景観計画について説明し、市民の皆さんとの意見を交換するため開いたものです。豊科地域を対象とした2月20日の懇談会では約30人の市民が参加。線引き制度（市街化区域と市街化調整区域の区分）と

条例案との違いや制度変更により、土地利用がどのように変わるのかなど、具体的な場所を示しての質問も寄せられました。今後は、各区へ職員が出向き説明する機会を5月ころから計画しています。詳しい日程は、別途お知らせします。



豊科ふれあいホール (2/20)

■第2次行財政改革大綱について答申

答申書を手渡す白澤会長 (右)

市行政改革推進委員会（白澤亀内会長）は2月22日、市役所本庁機能と総合支所機能の見直し、組織体制の確立などを盛り込んだ第2次安曇野市行財政改革大綱案（平成22年～26年度）を了承し、宮澤市長に答申しま

した。大綱ではこのほか、市民との協働体制の推進、業務の効率化など、全部で5つの重点項目を盛り込んでいます。答申の中で同推進委員会は、「着実に新しいまちづくりに取り組んでいる」とする一方、「厳しい財政状況が続く中、少子高

齢化や環境問題など直面する諸問題にも積極的に取り組まなければならぬ」とも指摘し、8つの意見、要望を付けました。宮澤市長は「答申を尊重し、効率的な財政を進め、住んで良かったと思えるまちづくりを目指します」と述べました。



■地域防災力の強化に向け 消防車両を更新

市は2月26日、消防車両の配置式を本庁舎前で行いました。配置したのは小型ポンプ付積載自動車1台で、明科地域明科区を所管している第6分団第1部に配備しました。これまで同部

に配置されていた車両は17年間使われ、安全面の問題などからこのたび新車両に更新されました。新車両は、ポンプなどの性能も高く、防災力の一層の強化が期待できます。

同部の代表者である丸山恭一郎副分団長は、「万が一の際は、新しいポンプ車の性能を十分発揮させ、1分1秒でも早い消火に努めたい」と、活動の充実を誓いました。



引き渡し後、取り扱いの説明を受ける



声出してプレーして！

2/27 長野日大・中原監督講演会

長野日大高校野球部監督の中原英孝さんを迎えた講演会（安曇野ブランドデザイン会議福祉部会主催）が2月27日、豊科公民館ホールで開催されました。講演の中で中原さんは、「バットを振る勇氣、投げる勇氣、声を出してプレーすること」が重要と強調しました。約600人の来場者は、中原監督の示唆に富んだ話に熱心に耳を傾けていました。部活のチームメイトと参加した宮下圭輔さん（穂高中2年）は、「熱く語ってくれる監督の話はとてもためになりました。今まで以上に1つ1つのプレーに声を大きく出すよう心掛けたいです」と意気込みを話してくれました。

ゆっくり、足を止めて

2/20 穂高あめ市 タイアップイベント

穂高地域の恒例行事「あめ市祭」にあわせ、穂高地区活性化総合プロジェクト（小岩原哲夫リーダー）によるタイアップイベントがこのほど開かれました。

あめ市の最終日となる2月20日には、市内在住の美術作家の作品展示、古本市、餅つき大会が催されました。

古本市では、寄贈などで1万冊をそろえた古本を駅前通りの各店舗前で販売。訪れた人はそれぞれの店で足を止め、段ボールに積まれた中から好みの本を探していました。買い物のついでに立ち寄ったという地元の女性（60・穂高）は、「思いがけず商店街をゆっくり散歩できた」と満足した様子でした。

やまない振り込め詐欺被害 撲滅を目指し「あづみん」で啓発

2/24 安曇野警察署 振り込め詐欺対策



依然やまない振り込め詐欺を防止するため、安曇野警察署と安曇野防犯協会連合会は2月24日、乗合タクシー「あづみん」の車内で啓発活動を行いました。

同署によれば、市内の昨年の振り込め詐欺被害は11件で、高齢者の被害も少なくない状況です。そこで同署では、高齢者の交通手段として定着している「あづみん」に署員が同乗し、紙芝居風のボードを使い、よくある手口を乗客に紹介しました。

同署生活安全課の佐藤由己子さんは「振り込め詐欺被害をひとごとと思っている人も多い。あやしいと思ったら、まずは警察に相談してほしい」と呼び掛けています。